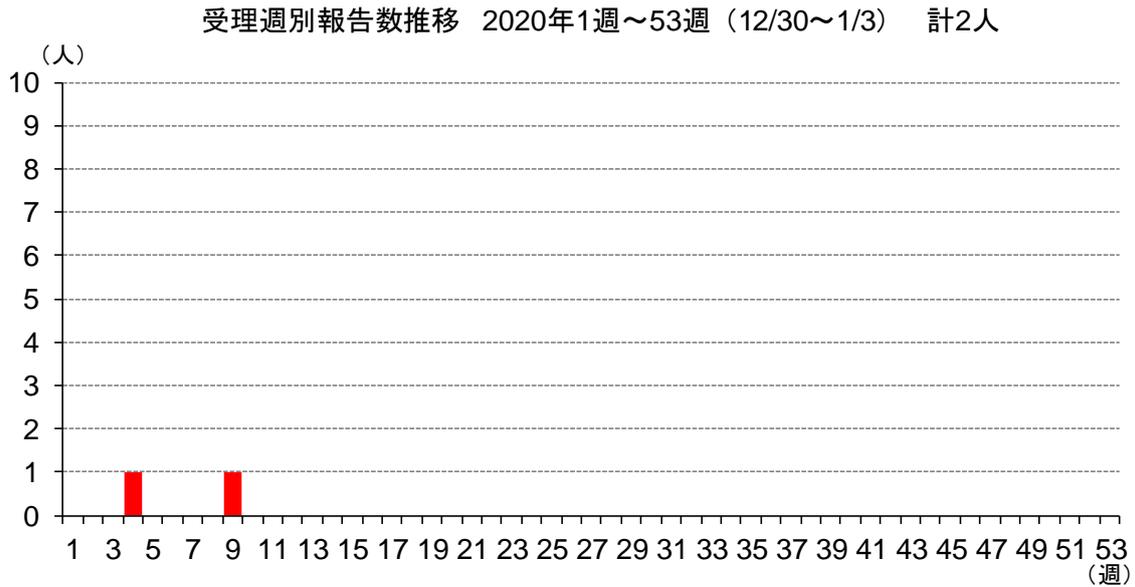


都内における麻しんの発生状況（2020年第1週から53週）

東京都健康安全研究センター

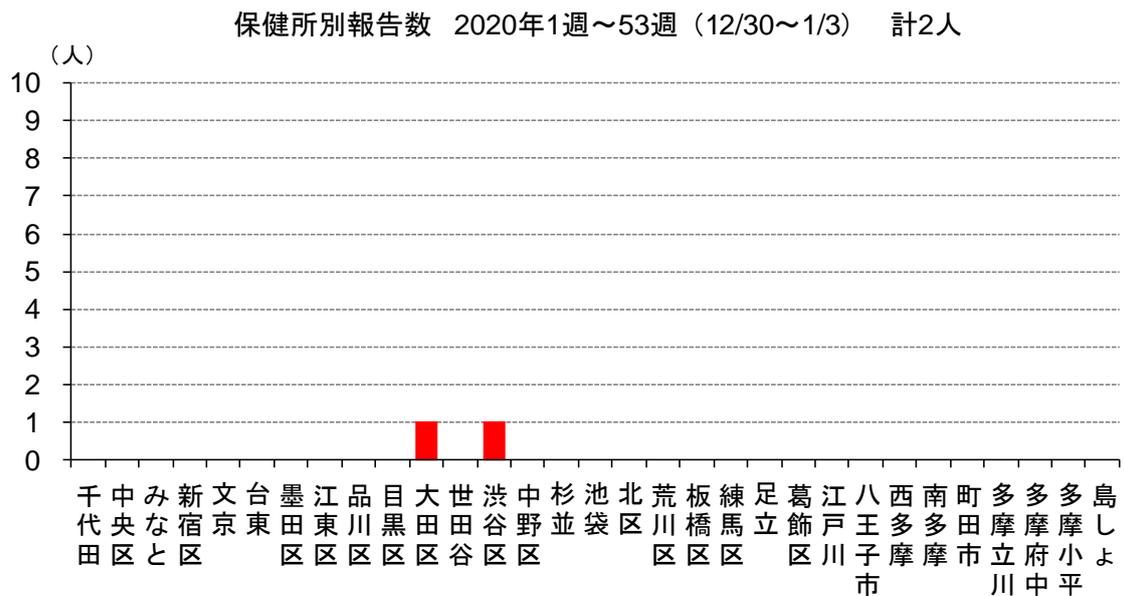
1. 患者報告数の推移

2020年の年間累計報告数は2人であった。



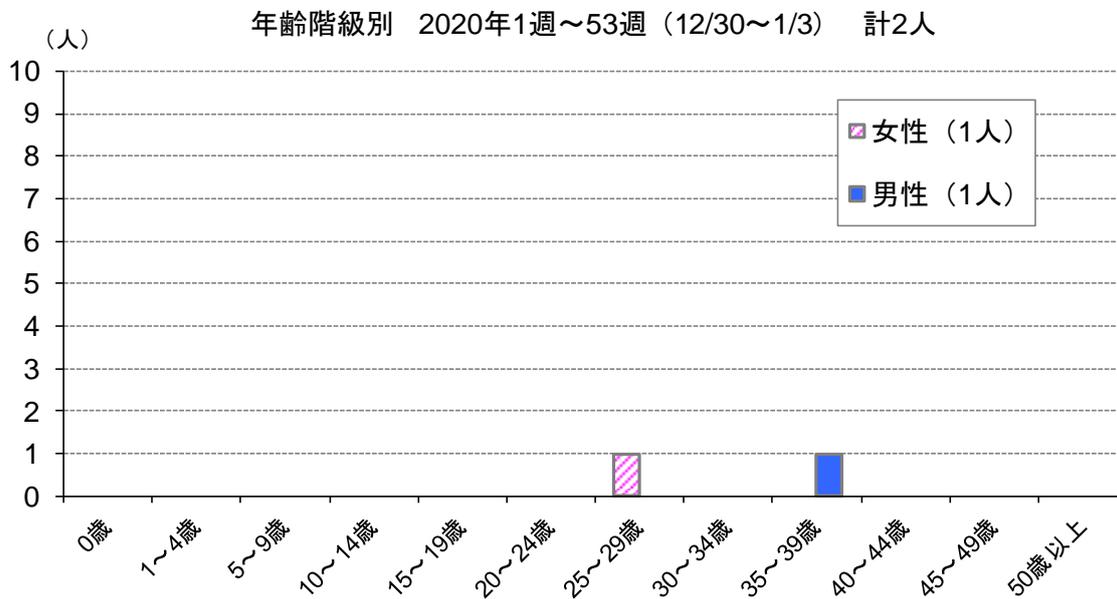
2. 保健所別報告数

31保健所中、大田区保健所、渋谷区保健所から各1人の報告があった。



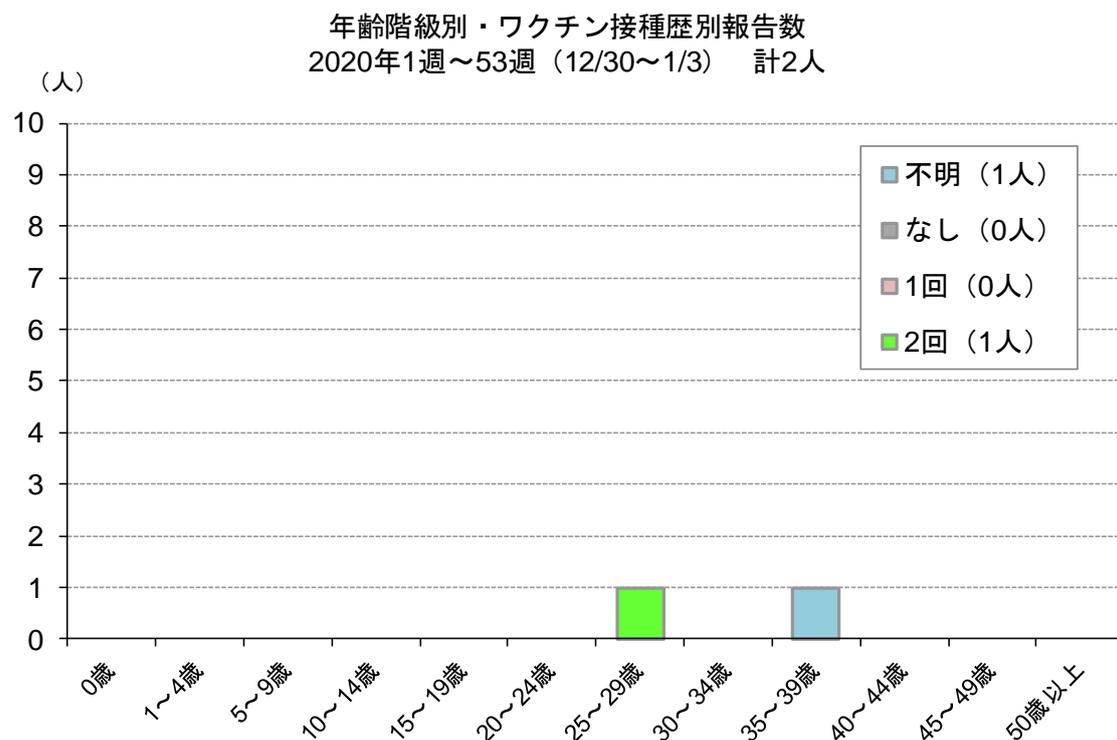
3. 年齢階級別・性別報告数

年齢階級別では 25～29 歳が 1 人、35～39 歳が 1 人であった。性別では男性が 1 人、女性が 1 人であった。



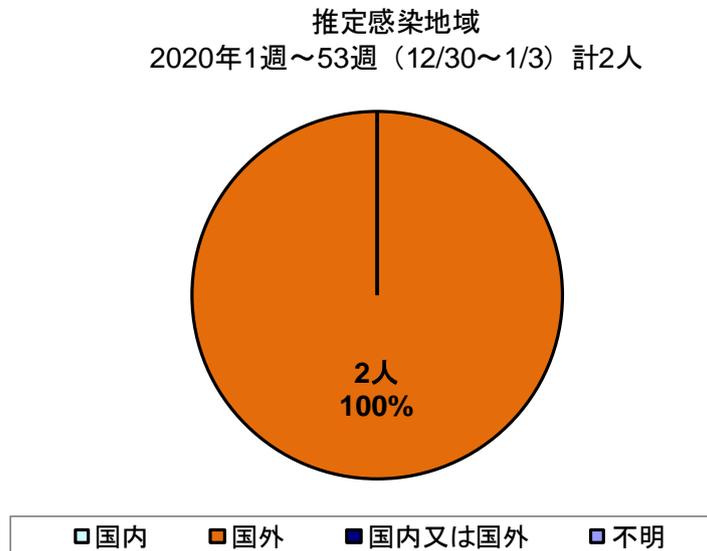
4. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

ワクチン接種歴別で見ると、2 回接種が 1 人、不明が 1 人であり、不明の割合は 50% であった。



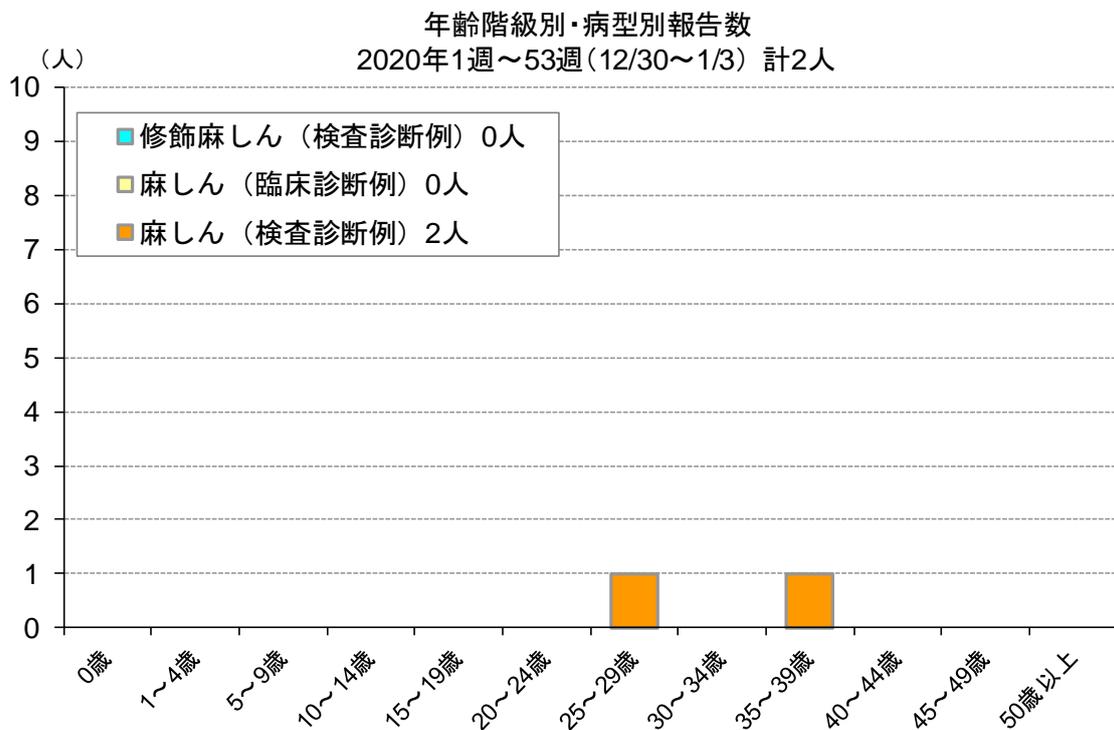
5. 推定感染地域

推定感染地域は「国外」が2人（100%）であった。（2019年の推定感染地「国外」は17人（14%）であった。）



6. 年齢階級別・病型別報告数

病型別で見ると、麻しん（検査診断例）が2人であった。麻しん（臨床診断例）、修飾麻しん（検査診断例）の報告はなかった。



7. 事例一覧

No	診断週	性別	年齢群	遺伝子型	推定感染地域	予防接種歴
1	4週	女	25～29歳	D8	国外(タイ)	2回
2	9週	男	35～39歳	D8	国外(タイ)	不明

8. 集団発生報告数

2020年の集団発生報告はなかった。

<参考>

麻しん患者報告数の推移（2016年～2020年）

過去5年間でみると、2020年は最も少ない報告数となった。

